

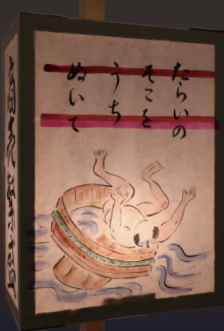
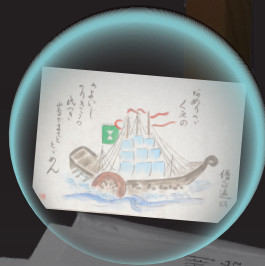
第五十二回企画展

夏の夜に軽妙な笑いを
おひとつかがですか

—カ齋とうろう絵の世界ふたたび—

川越の地口行灯

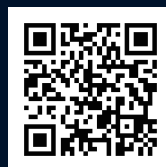
jiguchi lantern



関連イベントは裏面へ→

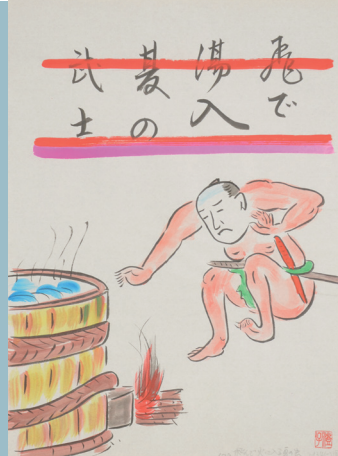
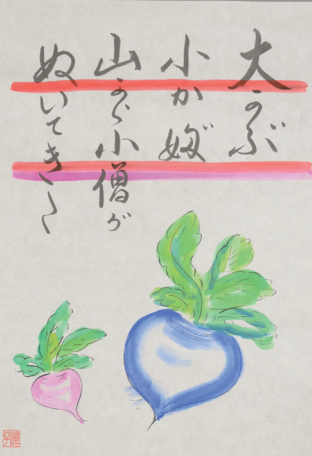
2025年7月19日(土)
▶ 9月28日(日)

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 入館料 一般 200 円（160 円） / 大学生・高校生 100 円（80 円）
小・中学生 無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体料金
- 休館日 月曜日（7/21・8/11・9/15 日は開館）、
7/22（火）・25（金）・8/12（火）・22（金）・9/16（火）・26（金）



川越市立博物館

〒350-0053 埼玉県川越市郭町 2-30-1
TEL 049-222-5399 / FAX 049-222-5396



地口は江戸時代に流行った駄洒落のようなことば遊びです。神社などの祭礼の夜には、こうした地口とそれにちなんだ絵を描き添えた地口行灯が参道にたくさん並び、祭礼に色をそえるとともに、参拝者の目を楽しませました。

川越には、江戸時代後期から一力齋という屋号で代々地口絵（とうろう絵）を描き続けてきた提灯屋があり、今もその伝統と屋号を継承した一力齋が市内大手町で作品を描いています。この一力齋の作品を中心に、地口絵の素朴な筆づかいと軽妙な笑いをお楽しみいただく本展覧会は、令和2年3月に開催を予定していたものの、コロナ禍により公開を断念せざるを得なかった第四十八回企画展「川越の地口行灯〜一力齋とうろう絵の世界〜」を、今一度みなさまに見ていただきたいと企画したものです。

川越の一力齋ならではのとうろう絵から、江戸時代の人々のくらしや文化を考えるとともに、多彩なことば遊びの世界をお楽しみください。

令和七年七月十九日

川越市立博物館

詳しくはホームページをご確認ください



《博物館歴史講座》

「地口行灯」

8月31日（日） 午後 1:30～3:00

講師 荻原ちとせ氏（足立区立郷土博物館）

「川越市域の民俗文化財と地口行灯」

9月7日（日） 午後 1:30～3:00

講師 石田千恵子氏（川越市文化財保護課）

《とうろう絵実演》

土屋澄子氏（一力齋津知屋提灯店）

9月13日（土） 午前 10:30～11:30

午後 1:30～2:30



関連イベント